

支えあうまち

京都市障害保健福祉行政情報 第14号



京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



令和5年度 京都市予算(障害保健福祉関係)の概要

新型コロナウイルス感染症から市民のいのちと健康を守る万全の対策を引き続き行うとともに、長期化するコロナ禍に物価高騰が重なるなど、様々な困難に直面した方々の暮らしを支える取組を確実に実行します。

一方、本市財政は、危機的な状況こそ脱したものの、少子長寿化の進展などにより社会福祉関連経費の更なる増加が見込まれる中、これまで守り続けてきた本市独自の施策理念を活かしつつ、セーフティネットの役割を将来にわたって持続的に果たしていけるよう、引き続き行財政改革を進めることが重要です。

こうした中、保健福祉局においては、行財政改革計画に基づき、集中改革期間における事務事業の見直しを進めるとともに、限られた財源の中で、持続可能な社会を目指すSDGsが掲げる「すべての人に健康と福祉を」との目標の実現に向け、①コロナ禍においても、すべての市民の皆様のかけがえのない「いのち」と年齢や障害の有無にかかわらない、いきいきとした「暮らし」を守り、②世代や分野を超えて、すべての人々や団体が、地域、暮らし、生きがいと共に創り、高めることができる「地域共生社会」の実現に向けた取組を推進する予算編成を行い、一般会計の26.9%を占める予算を確保しました。

障害者福祉予算においては、裁量的な事務事業の見直しや国費・府費等の積極的な取り込みを進めつつ、年々増加傾向にある障害者自立支援給付（法定給付）などの予算の確保を最優先に、「はぐくみ支えあうまち・京都ほほえみプラン」の推進を図るため、前年度を上回る737億3千万円（8.3%増）の予算を確保しています。

項 目	令和4年度	令和5年度	増 減	伸び率
一 般 会 計	9,204 億円	9,315 億円	111億円	1.2%
保 健 福 祉 局 *人件費を除く	2,395 億円 (26.0%)	2,502 億円 (26.9%)	107億円	4.5%
障 害 者 福 祉 予 算 ()内は、障害者自立支援給付(義務的経費)	680.5 億円 (524.2 億円)	737.3 億円 (564.5 億円)	56.8 億円 (40.3億円)	8.3% (7.7%)

障害者福祉予算は年々増額。令和5年度は、平成19年度の約2.6倍になっています。



令和5年度に実施予定の新規・見直し等の重要事務事業を紹介します**① 介護給付費・訓練等給付費(453億8,007万円(うち、報酬改定分12億2,033万円))【継続】**

年々増加する社会福祉関連経費の増加に対応するため、全庁的な人件費の削減、あらゆる事業の持続可能な視点からの改革により財源を確保し、安心して日常生活や社会生活を送ることができるよう、累増する障害福祉サービスについて、前年度を上回る予算を確保しました。

(介護給付費)

◎居宅介護	188億4,840万円
◎生活介護	98億7,664万円
◎施設入所支援	22億4,919万円

(訓練等給付費)

◎共同生活援助	27億9,422万円
◎就労継続支援	97億7,911万円

② 障害児・者福祉サービス利用支援策「新京都方式」(3億2,301万円※)【継続】

(※ 子ども若者はぐくみ局事業(障害児関係)分7,925万円を含めた額になります。)

国においては、平成22年4月から、低所得者(市民税非課税)の障害福祉サービス及び補装具に係る利用者負担を無料とする措置が講じられています。

しかし、国制度では未だ低所得者の負担軽減措置が不十分であるため、自立支援医療等について、一定の収入以下の低所得者の自己負担をなしとすることや、所得階層を細分化し国の定率負担の概ね1/2とするなど、本市独自の負担軽減策「新京都方式」を引き続き実施し、障害のある方のサービス利用を支援していきます。

③ 障害者ピアサポート研修事業(170万円)【新規】

障害や疾病の経験を持つ方が、その経験を活かし、障害等のある方の支援を行うピアサポートの取組を推進し、障害者の自立に向けた意欲の向上や地域生活の不安解消を図るため、京都府と連携のうえ、ピアサポートへの理解の促進と多様なピアサポーターを養成する研修を実施します。

④ 農福連携による障害者雇用創出の更なる推進(250万円)【新規】

京都らしい農福連携推進事業の成果を踏まえ、より多くの作業の受託を見込める中規模農家等を新たなターゲットとして、全ての農作物を対象に、生産体験実習会への参加者募集及びアフターフォロー、農作物の生産・加工・販売、新製品の開発等の支援を行うことで、障害のある方の雇用創出を一層推進します。

⑤ 民間社会福祉施設整備事業(2,640万円)【継続】

民間の障害者福祉施設に対し、建替建築経費等の一部を補助します。

⑥ 地域リハビリテーション推進センター、こころの健康増進センター及び児童福祉センターの一体化整備事業（34億5,650万円）【継続】

各施設の一層の機能充実、連携強化による相乗効果の発揮、専門的中核機関として全市的な相談支援体制を充実させるとともに、耐震性能がなく老朽化している現行施設の課題を解消するため、3センター一体化する移転整備を行っています。（令和5年10月竣工予定）



⑦ 強度行動障害者支援事業（2,500万円）【継続】

強度行動障害がある方を受け入れる事業所を増やすとともに、受入れ先で強度行動障害者が安心して生活し、定着できるよう、①強度行動障害者の受入れ時の準備的経費及び受入れ後の生活が安定するまでの集中的対応に要する経費を補助し、②強度行動障害者に対して事業所が適切な支援を行うため、京都市発達障害者支援センターにおいて、高度な専門知識を有する地域支援マネージャーがアセスメントや助言、研修等を行います。

⑧ 障害福祉サービス等事業所サービス継続支援事業（新型コロナウイルス感染症対策）（4,200万円）【継続】

障害福祉サービス等事業所において、必要なサービスを継続して提供できるよう、通常サービス提供時では想定されない、新型コロナウイルス感染症対策に要するかかり増し経費に対して支援を行います。

⑨ 障害者施設の食材費高騰に対する支援（3,600万円）【継続】

障害者の入所・通所施設において提供する食事について、食材費の高騰分を施設に対して支給することで、利用者負担を増額することなく、これまでどおりの栄養バランスや量を保った食事が提供されるよう支援します。

⑩ 障害者スポーツセンター、障害者教養文化・体育会館の利用料金改定【見直し】

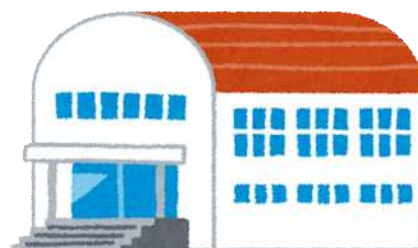
障害のある方及びその介護を行う者への利用料金について、引き続き無料としますが、その他の利用者の使用料について、令和5年4月から引き上げます。

◎障害者スポーツセンター 体育室（全面、平日の午前）

現行：2,510円 → 改定後：3,700円

◎障害者教養文化・体育会館 第一体育室（全面、平日の午前）

現行：2,510円 → 改定後：3,700円



【参考】関係する事業の一部をご紹介します。

① 医療的ケア児等地域支援コーディネート事業(400万円)【新規】

医療・福祉分野等に精通する「医療的ケア児等地域支援コーディネーター」の専門家チームにより、支援機関への専門的助言・指導（スーパーバイズ）、医療的ケア児等へのコーディネート支援等を行うモデル事業を実施します。

② 医療的ケアが必要な児童の送迎支援(2億6,124万円)【充実】

児童館等で実施する学童クラブ事業を利用する医療的ケア児が、小学校から学童クラブ事業を実施する施設まで及び施設から自宅まで、看護師等による送迎支援を利用する場合、送迎支援に要する実費を、医療的ケア児を受け入れている運営団体に助成します。利用者が契約した訪問看護ステーションの支援を受ける場合には、その費用負担を助成します。

また、令和4年度から実施している、総合支援学校に在籍する医療的ケア児の自宅・学校間の通学支援について、令和5年度は、利用回数の上限を設けないこととし、保護者負担の更なる軽減を図ります。

令和4年度の新型コロナウイルス及び物価高騰対策事業の実施状況

長引くコロナ禍に続く原油価格・物価高騰等に対する支援として、令和4年度に実施した主な事業について報告します。

（新型コロナウイルス対策）

① 障害福祉サービス等事業所サービス継続支援事業（再掲）

② 障害者施設内療養者に対する医療提供体制の強化

急激な感染拡大を踏まえて、①障害者施設内療養者に対して往診協力医療機関等が往診・投薬した場合の協力金の支給、②訪問看護ステーションからの看護師派遣に係る費用の支援、③施設医等で対応が困難な場合に適切な治療を受けられるようコーディネートを行うチームを設置するなど、施設内療養者に対する医療提供体制を強化しました。

（物価高騰対策）

① 障害者施設の食材費高騰に対する支援（再掲）

② 障害者施設における運営費に対する支援

障害者施設（入所・通所・訪問）のサービス提供にかかる必要経費のうち、物価高騰に係る費用を施設及び事業者に対して支給することで、安定的な施設運営を支援しました。

③ 就労継続支援事業所等における生産活動への支援

生産活動費用が増加している就労継続支援事業所等に対して、物価高騰による影響を受けた材料費及び光熱水費を支援することで、生産活動の下支えを図りました。

京都市障害保健福祉行政情報「支えあうまち」第14号 令和5年3月発行

発行 京都市 保健福祉局 障害保健福祉推進室

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 京都市役所分庁舎4階

TEL 075-222-4161 FAX 075-251-2940

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！



京都市印刷物 第044998号